

函館桜友の会



あなたも浅利先生が主宰する桜の会で
いっしょに身近な桜の花を愛でましょう。

申し込みは下記の事務局までどうぞ。

函館桜友の会

連絡先 〒041-0833 函館市陣川町80-8

(有) 樹芸やまのえ 内
0138-32-5315

<http://www.j-yamanoe.net/> (樹芸やまのえ で直接検索してください)

入会希望の方は

アドレス yamanoe@ncv まで、あなたの、お名前、住所、電話番号、携帯電話番号、メールアドレスを記載の上、送信ください。函館桜友の会の資料を後日お送りいたします。 上記ホームページ内からもメールにつなげます。

平成28年5月1日

函館桜友の会が発足いたしました。

函館の桜を学びさらに調査しその保護・保全について活動するため、桜の観察会、記念植樹活動や学習会などの事業を行ってまいりたいと考えています。サクラの好きな人が集まって活動する会であります。

第1回函館桜友の会桜観察会

場所：函館公園博物館、北海道最古のソメイヨシノ樹齢125年前



函館公園のソメイヨシノの前で発足式を開き、浅利さん（手前）の説明を聞く函館桜友の会のメンバー

28.4.2

函館のサクラ調査し守る

「桜守」として知られる七飯町の桜研究家、浅利政俊さん（85）ら有志による「函館桜友の会」が1日、設立された。函館市内のサクラの現状を調査、把握し観光振興に役立てる活動をしていく。

（小坂真希）

浅利さんによると、市内全域のサクラの本数や品種、状態などは把握されておらず、どう保護し観光資源として活用していくかの研究が十分という。北海道新幹線開業を受け、サクラを観光振興につなげようと考えた浅利さんが会の設立を呼びかけた。

この日は浅利さんに賛同した約10人が函館公園（青柳町）に集まり発足式を開いた。樹齢125年前後と



道内最古のソメイヨシノの前で団結

約120年前、函館公園（青柳町）に初めて植えられたソメイヨシノの前で1日、有志による「函館桜友の会」の発会式が行われた。財団法人「日本さくら会」の「桜守（さくらもり）」である浅利政俊さん（85、七飯町）が会長を務め、函館全域のサクラを見守り、花と人が心を交わす文化を後世に伝えようと団結。北海道新幹線開業も祝い「青函圏のサクラ観光の充実を」と意気込んでいる。（田中陽介）

桜と人の文化 後世に

浅利さんら友の会結成

活動は観察会や記念植樹、病気の枝切りなどの保護保全で「サクラと市民が互いにたええさ」ことを目指し、と事務局、発会式には14人が参加し、浅利会長は案内で園内のサクラを見回った。

浅利会長によると、同公園のソメイヨシノは1889（明治22）〜93（同26）年、函館の商人、逸見小石衛門が、亀田川を隅田川に、函館川を吉野山に、と、サクラによる景観美化に取り組み、植栽したのが始まりで、道内最古の歴史を誇るという。

現在、老木は市立函館博物館近くに2本あるが、と

の1本には野鳥が種を持ち運んだと思われるオシロイ根付き、「これはサクラにとって大変負担になる」とい、推移を見守りながら状況次第では、関係機関に延命措置に向けた対応の協力を求めたい考え。

市内の会社員、藤巻広さん（29）は「貴重な桜が多くて勉強になった。長男の空ちゃん（5）も「花のピンクの色が好き」とにっこり。浅利会長は「函館のサクラの現状は必ずしも正しく把握されておらず、どう未育をかわすかなど未知状態。課題解決に向けて多くの人と力を合わせて頑張りたい。サクラの好きな人であれば歓迎したい」としている。

同会は近日、ホームページを立ち上げて会員を募る。

ソメイヨシノの老木（左）を笑顔で観察する浅利さん（手前右）

事務局

郵便番号 041-0833

函館市陣川町80番地の8

有限会社 樹芸やまのえ
電話 0138-32-5315
FAX 0138-32-5410

平成28年5月6日

第2回函館桜友の会桜観察会

場所: 笹流貯水池前庭広場サトザクラ(雨宿)ほか植栽地



測定結果

ウメの隣りにある雨宿りから順に測定した。

1本目 雨宿アマヤドリ 3分～5分咲き

樹高 4.8m 幹周 181cm

枝振り 北へ4.7m 南へ5.8m

東へ5.6m 西へ7.0m

2本目 雨宿アマヤドリ 3分～5分咲き

樹高 3.2m 幹周 100cm

枝振り 北へ2.8m 南へ3.5m

東へ3.3m 西へ3.6m

3本目 雨宿アマヤドリ 3分～5分咲き

樹高 2.6m 幹周 80cm

枝振り 北へ0.0m 南へ3.2m

東へ3.2m 西へ2.0m

4本目 雨宿アマヤドリ 3分～5分咲き

樹高 2.0m 幹周 65cm

枝振り 北へ1.5m 南へ1.3m

東へ2.0m 西へ2.7m

詰め所前にあるアマヤドリは、道内でも屈指の名木である。そろそろ開花する頃であると思い、本日、観察したいと思い、伺った。

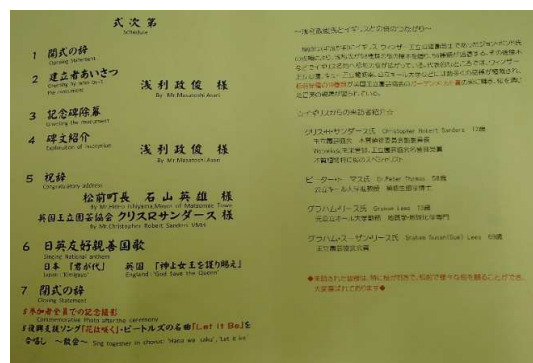
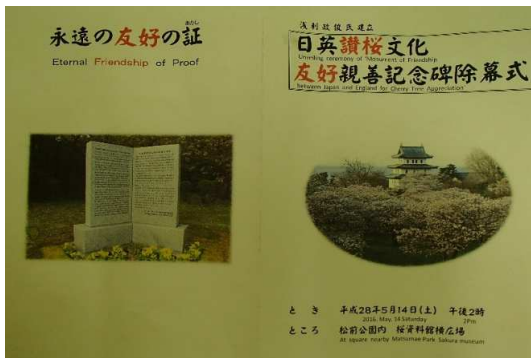
これより大きいアマヤドリは、松前にもあるが、背が高く、人がこうして手に取るようにして観察できるのは、ここだけである。幹周り、枝振りといい、道内では、一、二を争うほどのサクラ(アマヤドリ)である。

計測し数値化することで、第3者によく伝わり比較しやすくなり価値判断が容易となる。

平成28年5月14日

日英讃桜文化 友好親善記念碑除幕式が執り行われました

場所: 松前町 松前公園 桜資料館横広場



この時の様子は、テレビでも放映されました。
HTB 5月21日(土)「ビジネスウィークリー」 6:00~6:05

平成28年5月29日

第3回函館桜友の会桜観察会
場所: 函館郊外ダム公園



桜観察会前の浅利先生による開催挨拶と
観察についての事前説明。



事前説明会の参加者の様子 函館四季の杜公園待合室



浅利先生によるサトザクラの品種の同定、遅咲きのサトザクラについての解説



参加会員による記念撮影